

第12回やまねこ博覧会 開催報告

開催期間: 令和5年10月14日(土)、15日(日)

開催場所: 京都市動物園

絶滅の危機に瀕しているツシマヤマネコの現状や、その保全に関する取組をより深く知っていただくために「やまねこ博覧会」を開催しました。2012年から始まり、今年で12回目の開催となりました。

来園者 14日(土) 2,585人 曇

15日(日) 4,410人 晴一時雨



クロスワードパズル (両日)

ツシマヤマネコや生息環境に関する問題からクロスワードパズルを解いてもらい、出来上がったキーワードを答え合わせ場所に持って来てもらいました。正解者には当園のツシマヤマネコの写真を印刷したシールをプレゼントしました。(2日間で300枚)。

参加者: 14日247人、15日282人



サクラちゃんと一緒に (両日)

当園の「サクラちゃん」と対馬市の「たまひめちゃん」による記念撮影イベントを行いました。人数制限は設けず実施しました。

参加者: 14日80人、15日149人



協力団体によるブース出展（両日）

対馬市役所、ヤマネコ応援団、NPO法人ツシマヤマネコを守る会、NPO法人どうぶつたちの病院、岐阜大学動物繁殖学研究室、関西大学第一高等学校・中学校生物部にご協力いただきました。ツシマヤマネコの保全活動の紹介やグッズ販売などが行われ、両日ともに多くの来園者がブースを訪れ賑わっていました。



獣医が行く！（14日）

14日には定例イベントの「獣医が行く！」を開催し、獣医師が高齢個体の体調管理や非公開施設での繁殖の取組についてガイドを行いました。参加者 50人



もっとキイチに大接近

展示個体のキイチの日常生活や日々のケアのことなどを、YouTubeで期間限定で、二次元コードを読み取っていただき動画を公開しました。

開催期間：10月14日(土)～10月31日(火)

押し・塗り・描こ ツシマヤマネコ (14日)

ツシマヤマネコをテーマに、消しゴムハンコを押して塗り絵をしたり、絵をかいたりする「押し・塗り・描こ ツシマヤマネコ」を実施しました。家族連れで参加される方が多く、みなさん自由にお絵かきをしていて最後は嬉しそうにお帰りになっていました。
参加者 63人



紙芝居「ツシマヤマネコのシマ」 (15日)

芝生広場でツシマヤマネコの紙芝居「ツシマヤマネコのシマ」(【作】キム・ファン【絵】吉野由紀子)を上演しました。家族連れの方が多く、小さなお子様も最後まで座って紙芝居を見てくださっていました。

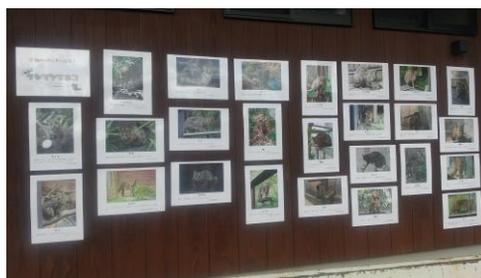
参加者 67人



写真展「ツシマヤマネコ写真展」

当園の非公開エリアで生活しているツシマヤマネコの様子を紹介する写真に加えて、全国で飼育されているツシマヤマネコの個体紹介の写真を掲示しました。

開催期間: 10月3日(火)～10月29日(日)



ヤマネコ講演会（15日）

講演は計2題で、ツシマヤマネコの保全に関わる専門家たちのお話を聞くことができるということもあり、定員には達しなかったものの、整理券配布の際には行列ができ、講演に大変興味を持ってくださっている方が多かったです。

参加者 67人

「対馬の自然環境とツシマヤマネコを取り巻く問題」（NPO法人どうぶつたちの病院 太田幸弘氏）

「動物園と進めるツシマヤマネコの繁殖生理研究～飼育下繁殖の推進のために～」（岐阜大学応用生物科学部 教授 楠田哲士氏）



ヤマネコふわふわ（両日）

対馬市が用意してくださったエア遊具を設置しました。対象は小学生以下のお子様ではあるものの、多くの方に参加していただき、何回も繰り返し入りたいというお子様もいらっしゃるなど、大盛況でした。受付には募金箱を設けました。

参加者 カウントせず

